東洋シヤッター株式会社

本　　社　〒542-0081 大阪市中央区南船場2-3-2 南船場ハートビル12F　☎06(4705)2110
東京本社　〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5日本橋Kビル　☎03(3639)0551
（ホームページ）https://www.toyo-shutter.co.jp

●お問い合わせ、ご用命は ――――――

■当カタログ製品のデザイン、仕様等は改良のため予告なく変更する場合があります。
■写真は印刷物のため、実際の色・材質感とは多少異なる場合があります。

(2023年2月現在)
2302NS⑧1-010

TOYOShutter

シリカクロス製防火・防煙スクリーン

タイカクロスⅡ,Ⅲ

やさしさと機能が

軽量・省スペース・安全性・意匠性 ＋ 防火・防煙

ひとつになった。

タイカクロスⅡ,Ⅲ 危害防止装置を標準装備

東洋シヤッターの「タイカクロスⅡ,Ⅲ」は、本体にシリカクロスを使用した布製の防火・防煙スクリーンです。
火災時には煙（熱）感知器と連動して自動的に閉鎖、炎と煙を遮断し、火災の延焼を防ぎます。
また閉鎖時の圧迫感も少なく、火災時のパニックを緩和します。

※設置上の注意事項に該当する建物・避難階段ではありません。

ラインナップ

			適用サイズ（m）	最大平米（㎡）
タイカクロスⅡ	一体型	避難口無仕様	Ⓦ1.2～10 Ⓗ2～6	防火60 防煙40
		避難口付仕様 （避難口は1ヶ所）	Ⓦ1.5～10 Ⓗ2～6	防火60 防煙24
タイカクロスⅢ 適用開口幅を大きく拡大。避難口は最大3ヶ所。	一体型	避難口無仕様	Ⓦ0.6～13.5 Ⓗ0.5～6	防火81 防煙81
		避難口付仕様※	Ⓦ1.35～13.5 Ⓗ1.8～6	防火81 防煙81
	分割型	避難口無仕様	Ⓦ4～21 Ⓗ0.5～6	防火126 防煙100
		避難口付仕様※	Ⓦ4.25～21 Ⓗ1.8～6	防火126 防煙100

※避難口は最大3ヶ所（分割型は分割毎に避難口1ヶ所、最大3ヶ所まで）

国土交通大臣認定番号

性能	該当条文	製品名	認定番号
特定防火設備	建築基準法施行令 第112条1項	タイカクロスⅡ タイカクロスⅢ	EA-0332 EA-0495
遮煙性能を有する防火設備 エレベータ前の空間を含む防火設備	建築基準法施行令 第112条19項第2号	タイカクロスⅡ	CAS-0649
		タイカクロスⅢ	CAS-1102

布素材が可能にした4つのやさしさ

Light 軽量

●本体であるシリカクロスの重量は、わずか0.7kg／m²。
鋼製シャッターの約1／30程度と軽量なので躯体への負荷が少なく、施工性に優れています。

●シリカクロスは軽量で柔らかい素材なので、万一の衝突事故等の危険性が大幅に緩和されます。

Safety 安全性

●スチールに比べ、火災時の輻射熱が小さくなるので、避難行動を妨げにくくなります。

●透光性があるため、反射側（火災側）の状況を推測することができます。

●危害防止装置が標準装備です。

Compact 省スペース

●本体であるシリカクロスの厚さは、わずか0.7mm。

●巻取部分はコンパクトで、天井内はすっきり省スペース。

Beautiful 意匠性

●中柱なしで最大21mまでの開口幅に対応できるので、設計の自由度が高まります。

●ガイドレールの溝幅は、タイカクロスⅡは10mm、Ⅲは11mm。
すっきりとしたデザインで周囲の美観を損ねません。

タイカクロスⅡ

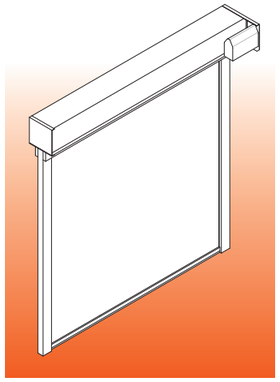
避難口無仕様と避難口付仕様があります。

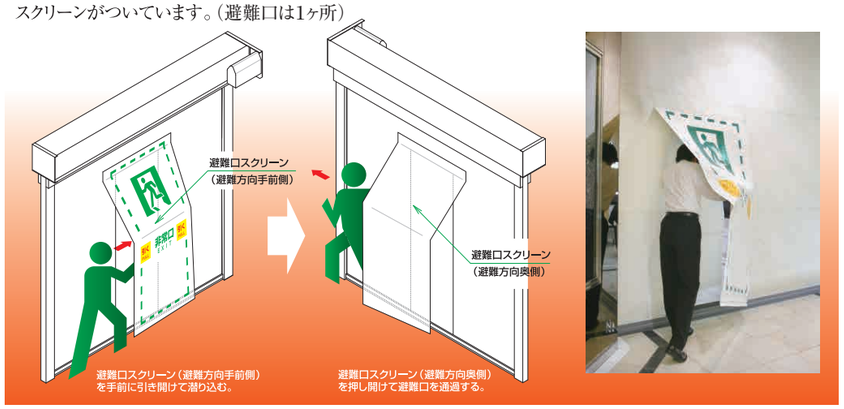
■避難口無仕様

1枚のスクリーンが非常時に
開口部を閉鎖します。

■避難口付仕様

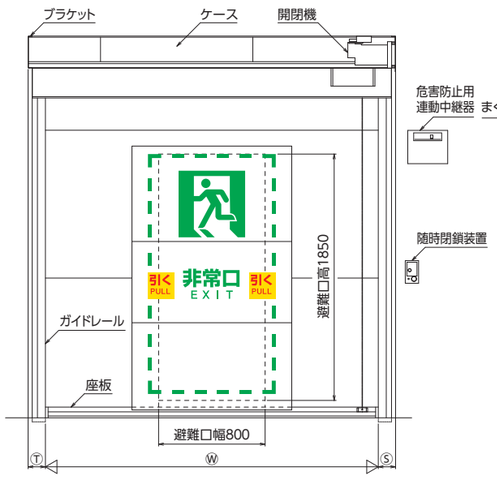
避難口無仕様のスクリーン部に避難用の開口部があり、そこを前後2枚で覆い隠すように
スクリーンがついています。（避難口は1ヶ所）



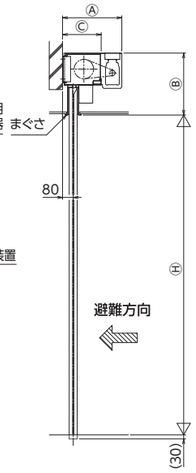


標 準 寸 法 図

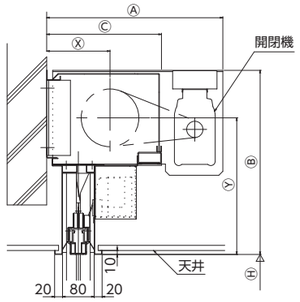
正面図



断面図



ブラケット納まり



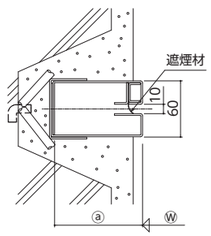
納まり寸法表

(mm)

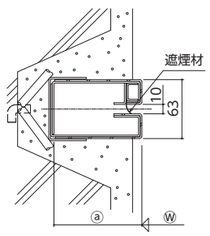
Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓢ・Ⓣ	Ⓧ	Ⓨ	ⓐ
445/470	465/515	290/315	140～180	160/173	345/370	95～125

※詳細は、次ページの納まり詳細寸法表をご参照ください。

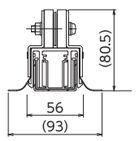
部材



ガイドレール（スチール）



ガイドレール（ステンレス）



座　板

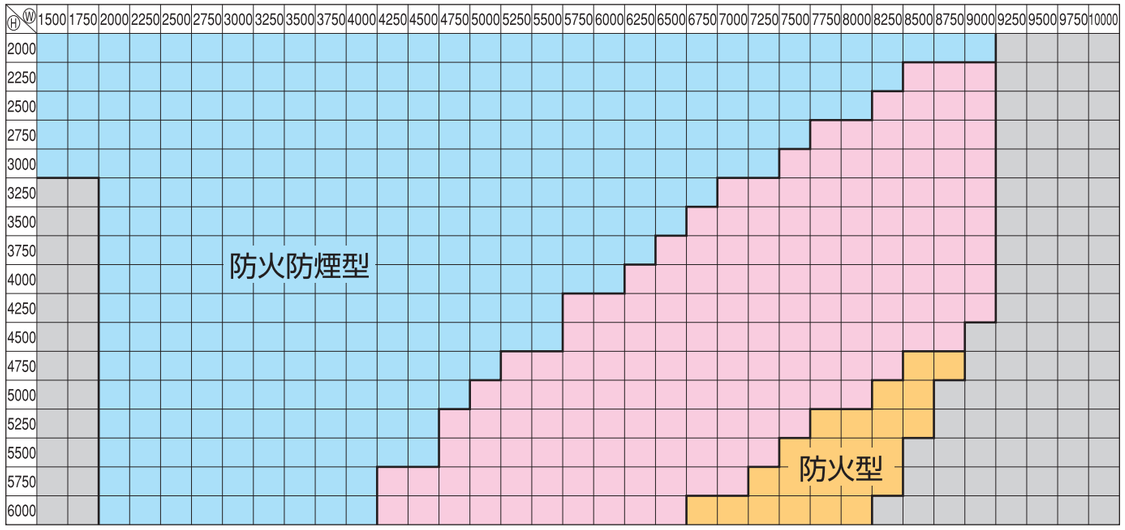
仕　様

本　体	シリカクロス（両面樹脂コーティング）0.7mm
ガイドレール・まぐさ	スチールorステンレス
座　板	スチール・アルミ（底面はステンレス）
操作方法	●電動収納式（2点押しボタンスイッチ） 電圧:単相100V/3相200V（50Hz/60Hz） FT4型 モータ出力:0.14kw ●手動収納式 ハンドルorチェーン
耐久性能	1500回

※スクリーンは布製のため、シワの生じる場合がありますが、
防火・防煙性能上の問題はありません。

防火・防煙区分表

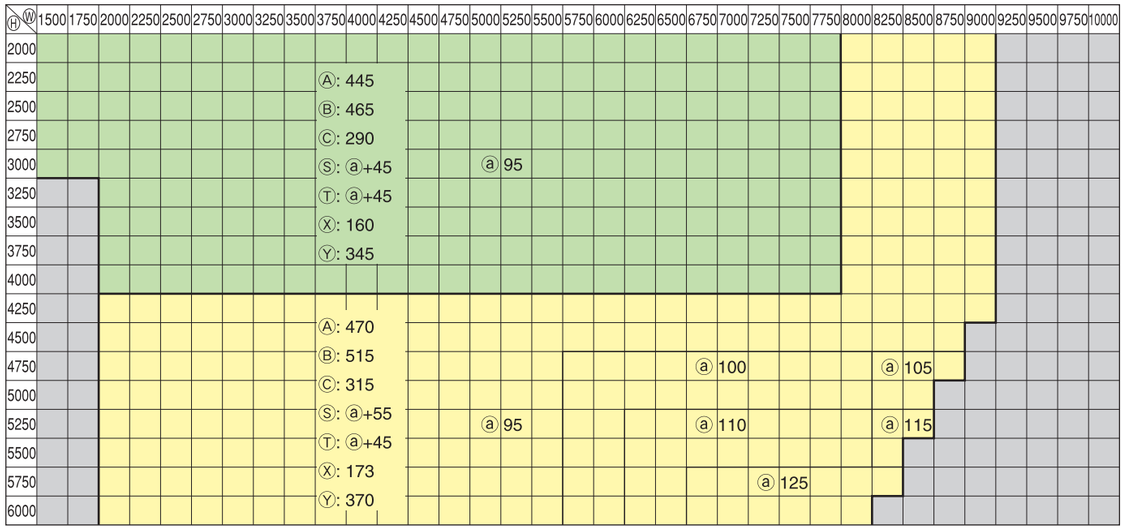
(mm)



※ の範囲は、「避難口無仕様」では防火防煙型、「避難口付仕様」では防火型になります。　※ の範囲については、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

納まり詳細寸法表

(mm)



※ の範囲については、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

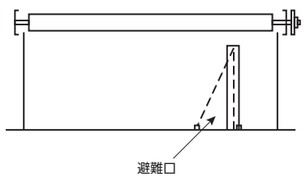
タイカクロスⅢ

特長

■ワイドな開口幅 —— 一体型でⓌ13.5m、分割型でⓌ21mまで対応
■狭小幅対応 ———— 避難口無でⓌ0.6m、避難口付でⓌ1.35mに対応
■避難口仕様 ———— 避難方向への押し開き方式（手前側に開くデッドスペースがいりません。）最大3ヶ所まで設置可能
■レール内蔵式随時閉鎖装置に対応（Ⓦ10mまで対応）
■運搬に便利な分割型もラインナップ（最大4分割）

一体型

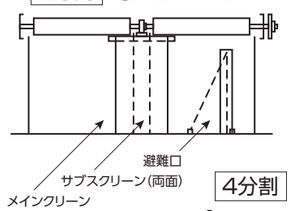
Ⓦ0.6m~13.5m



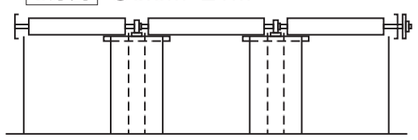
分割型

メインスクリーン連結部の両面をサブスクリーンで覆い隠す構造で、最大4分割が可能。
分割は均等割。

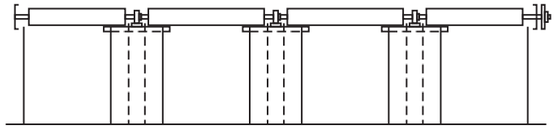
2分割 Ⓦ4.0m~15m



3分割 Ⓦ6.0m~21m



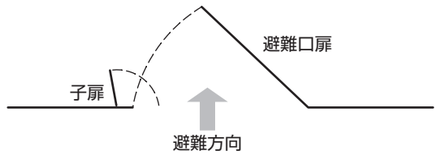
4分割 Ⓦ8.0m~21m



避難口

■最大3ヶ所まで設置可能

避難口扉のスチールシートがメインスクリーンのマグネットに付き、
子扉が重なり気密性を高めている。
分割型には分割毎に1ヶ所設置可能で、最大3ヶ所まで設置可能。



■避難手順

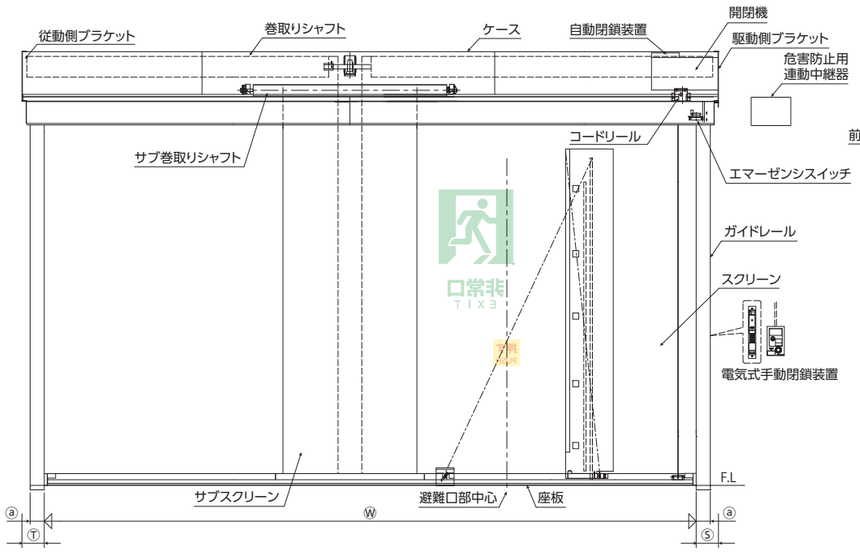
1 避難前

2 避難口扉を押し開くと、子扉も開き避難開口ができます。

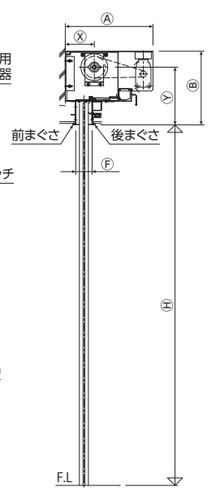
3 避難（通過）後、手を離すと自動閉鎖します。

標準寸法図

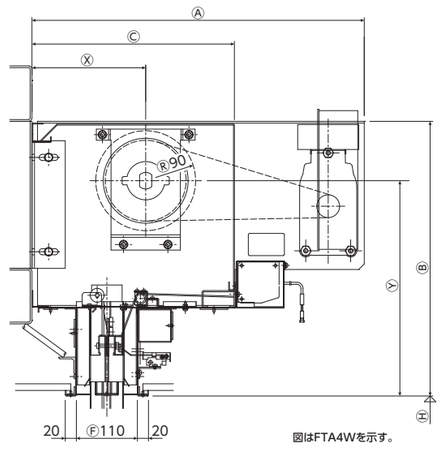
正面図



断面図



ブラケット納まり寸法



図はFTA4Wを示す。

納まり寸法表

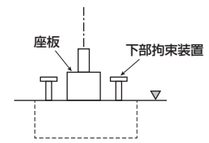
(mm)

納まり	開閉機	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓢ	Ⓣ	Ⓧ	Ⓨ	ⓐ
一体型	FTA4	452	385	288	120/140	120/140	150	283	75/95
	FTA6	680	470	327	170/190	135/155	175	315	75/95
	FTA10	740	544	387	200/230	170/200	213	352	95/125
分割型	FTA4W	599	495	365	120~170	120~170	205	388	75~125
	FTA6W 5インチ FTA10W	666	505	365	210~475	155~420	205	388	95~360
	FTA6W 6インチ FTA10W	662	532	365	190~475	135~420	218	408	75~360

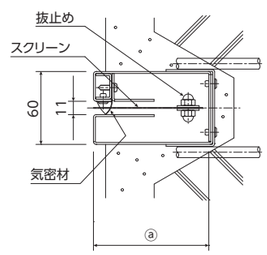
下部拘束装置

Ⓦ10m超えの場合、開口の床に
下部拘束装置の設置が必要。

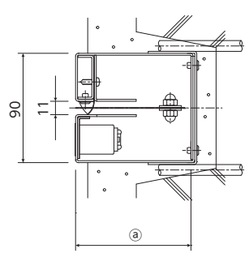
10m<Ⓦ≦20m　開口中央部に1個
20m<Ⓦ≦21m　開口⅓ずつ2個



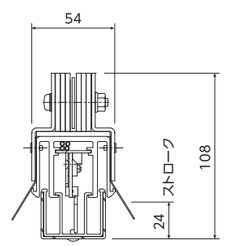
部材



標準ガイドレール



随時閉鎖装置内蔵ガイドレール〔Ⓦ≦10m〕



座　板

タイカクロスⅢ

仕　様

本　体	シリカクロス（両面樹脂コーティング）0.7mm
ガイドレール・まぐさ	スチールorステンレス
座　板	スチール・アルミ（底面はステンレス）
耐久性能	1500回

※スクリーンは布製のため、シワの生じる場合がありますが、
防火・防煙性能上の問題はありません。

操作方法	●電動収納式（2点押しボタンスイッチ） 電圧:単相100V/3相200V（50Hz/60Hz） FTA4　モータ出力:0.14kw FTA6　モータ出力:0.21kw FTA10 モータ出力:0.34kw ●手動収納式 ハンドルorチェーン

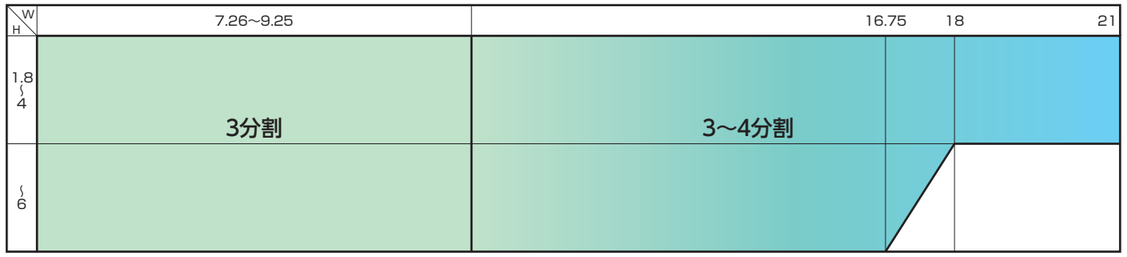
適用サイズ表 防火仕様

一体型　避難口無　W0.6~13.5m　H0.5~6m

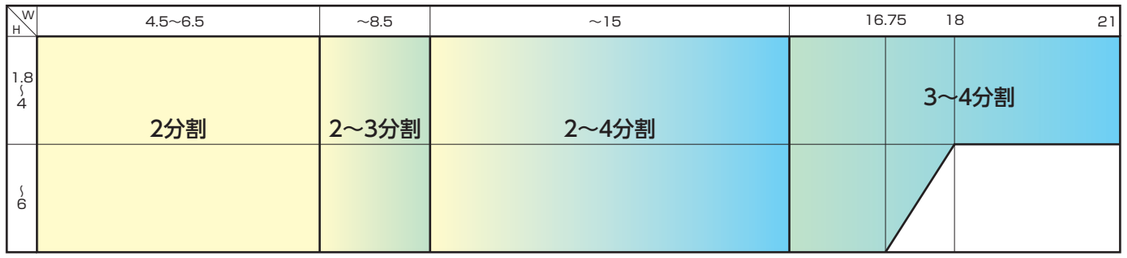
一体型　避難口付　(m)

H＼W	1.35~2.9	~4.3	~10	~13.5
1.8~6	避難口 1ヶ所	避難口 1~2ヶ所	避難口 1~3ヶ所	避難口 1~2ヶ所

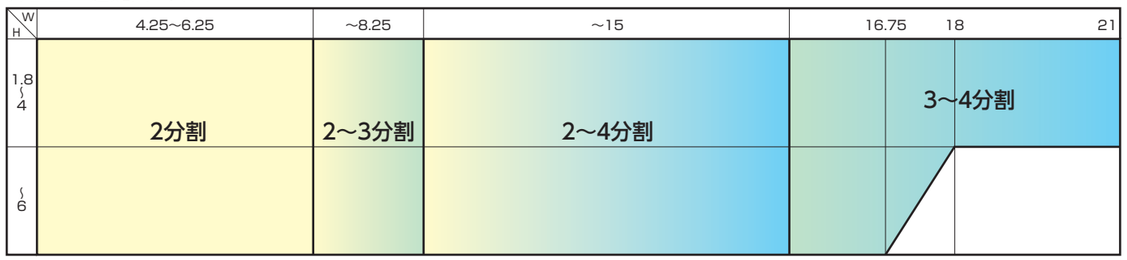
分割型　避難口3ヶ所　(m)



分割型　避難口2ヶ所　(m)



分割型　避難口1ヶ所　(m)



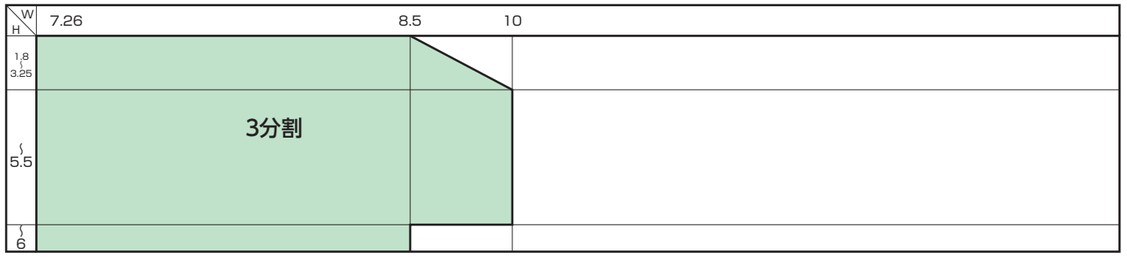
適用サイズ表 CAS認定品（防煙仕様）

一体型　避難口無　W0.6~13.5m　H0.5~6m

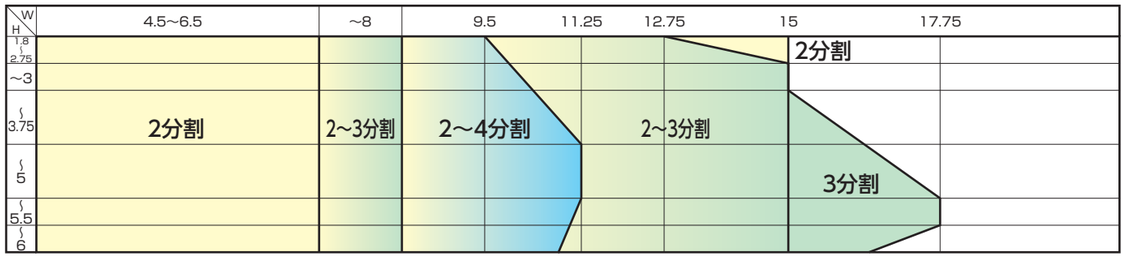
一体型　避難口付　(m)

H＼W	1.35~2.9	~4.3	~10	~13.5
1.8~6	避難口 1ヶ所	避難口 1~2ヶ所	避難口 1~3ヶ所	避難口 1~2ヶ所

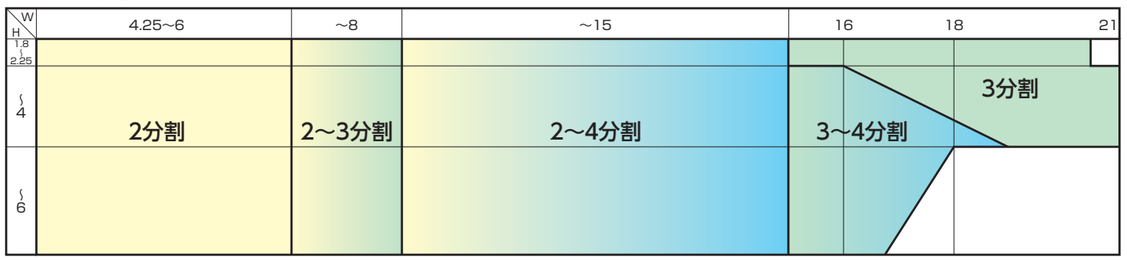
分割型　避難口3ヶ所　(m)



分割型　避難口2ヶ所　(m)



分割型　避難口1ヶ所　(m)

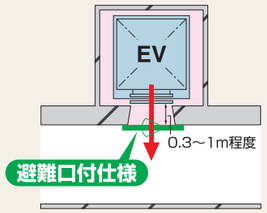


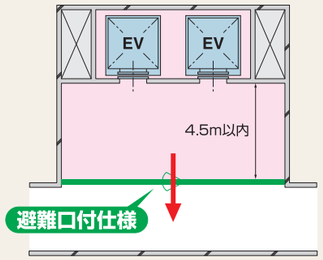
※設置上の注意事項に該当する建物･避難階段ではありません。

※設置上の注意事項に該当する建物･避難階段ではありません。

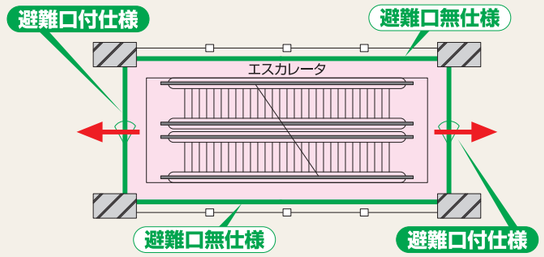
タイカクロスの設置例

エレベータ周りのたて穴区画





エスカレータ周りのたて穴区画



設計上の注意

○開閉収納方式には、電動収納式と手動収納式があります。

○電動式の場合、巻上は電動式ですが、下降は自重降下式（自重降下ワイヤを引く）を標準とします。

○スクリーンの左右両端部及び分割型の連結部には、600口以上の天井点検口を接地してください。

○本製品はデリケートなため、取扱いには細心の注意を払ってください。

○製品の特性上、危害防止装置を取り外すことはできません。

○避難口のスクリーンには避難方向に準じた避難表示がされているため、設計時には方向を確認してください。

⚠ 注意

●この商品は、必ず定期点検を行ってください。

●定期点検を行わないと、機能・性能が損なわれる可能性があり、火災発生時に、機能しない恐れがあります。

●危害防止用連動中継器に使用している蓄電池は約5年で寿命ですので交換が必要です。

設置上の注意

タイカクロスの設置については、スクリーンの物性上、破損等を防ぐため、以下に留意してください。

○常時開放方式の特定防火設備とし、日常開閉する用途には使用できません。

○機械排煙を行う区画には設置できません。（圧力調整により、クロス閉鎖時の圧力差が30Pa以下にできる場合は除きます。）

○ガス系消火設備（二酸化炭素・窒素など）が設置されている空間はガスにより高圧力がクロスに加わり破損する可能性があるので設置できません。

○強い風圧を受ける可能性のある以下の場所には使用できません。（直接風圧を受けない対策がされている場合を除きます。）

・屋外に直接面した区画

・地下鉄のホームにつながっている区画（列車通過時の風圧を受ける場所）

○倉庫、物販店舗の売場等で荷物、家具、棚等の転倒によりクロスを破損させる場所には設置できません。（転倒防止対策がとられている場合、転倒してもクロスに当たらない場合は除きます。）

○クロス近辺（2m以内）に天井から吊り下げられている重量物（空調機、照明器具、音響設備等）が火災時に落下してクロスを破損するおそれのある場所には設置できません。

○厨房等のように多量の油煙・水蒸気等が発生する場所は、巻かれたスクリーン同士が密着して降下障害の可能性がありますので設置できません。

○非常用エレベーター前の区画には設置できません。（消防署の事前に了承を得ている場合を除きます。）

○外壁開口部、防犯管理が必要となる場所には設置できません。

○避難口付の場合は、建築基準法施行令第122条に規定された特別避難階段及び避難階段、並びにそれらの階段室の前室における避難経路には使用できません。

○劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場、百貨店、マーケット、展示場、キャバレー、カフェ、ナイトクラブ、バー、ダンスホール、遊技場等の不特定多数の人が避難する避難経路上には使用できません。

※防火設備として満足な性能を確保できるように、一般社団法人日本シヤッター・ドア協会が定めた基準を参考に、設置上の注意事項として定めています。